

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援教室 わかくさ大庄		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者は阪神特別支援学校の利用者である	系列事業所から支援学校小学部高学年以上の児童を受け入れ、スムーズな移行のために、これまでの取り組みや目標・課題など引継ぎを受けている	職員が系列事業所に出向き、活動中の児童の様子を観察し担当職員からの引継ぎを受けられるようにしたい
2	事業所の建物の中が一部屋一部屋区切られていることでクラス分けを行い支援ができる	個々の特性やベースを考慮し安心して過ごせるようクラス分けを行っている	パーティションなどで仕切りを作り、活動に合わせたスペースを作っていきたい
3	個々のベースや特性に合わせた活動内容	一人一人のその時の体調や状況を考慮し支援を行っている	学校での活動や保護者のニーズを共有し個々に合わせた教材を増やしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現時点で配置基準はクリアしているが曜日によって職員の人数が足りない	専門職のため、敬遠する人が多い	入社後、研修やフォローできる体制を作り相談できる環境を整え、職員が定着しやすい環境を整えます。
2	利用者の状況に応じて使えるスペースの確保が難しい	利用者が不安定になった時にクールダウンができる十分なスペースの確保ができない。	各部屋の使用法の検討を行う
3	一戸建てのため、避難経路が階段のみになること	3階建ての一戸建てのため、避難に階段を使用する必要がある。そのため、避難に時間を要するほか、職員同士の連携が必要になる。	速やかに避難できるよう、定期的な避難訓練を実施し、スムーズな避難が行えるよう職員の連携を深めている。また、常に階段を降りる際には、職員が最初に降り、あとから児童が続く形で事故を防ぐようにしている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	わかくさ大庄
------	--------

公表日 2026年 2月 13日

利用児童数

18

回収数

16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	ご利用者様に合わせクラスを2つに分けさせていただいております。場合により、3クラスの対応をさせていただくこともございます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	2	その日ごとに何人体制か不明なので。	ご利用者様の特性に合わせた職員の配置数を行っておりますが、職員の資格・経歴など配布プリントでお知らせし、基準以上の配置を行っていることを知ってもらいます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3	0	0	工夫されていて分かりやすいが建物自体アレルギー持ちにとってはカビの匂いが気になります。	建屋が古く昔ながらの建物ではありますが清掃、アルコール消毒を心掛けておりますが足りない部分もあったかと思えます。今後も試行錯誤を繰り返し利用者様が過ごしやすい環境を作ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2	0	1	工夫されていて分かりやすいが建物自体アレルギー持ちにとってはカビの匂いが気になります。	建屋が古く昔ながらの建物ではありますが清掃、アルコール消毒を心掛けておりますが足りない部分もあったかと思えます。今後も試行錯誤を繰り返し利用者様が過ごしやすい環境を作ってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	1	記載なし	日々、ミーティングを行いここに合わせた支援をさせていただいております。これからも引き続き特性などに合わせた支援を行わせていただきたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	保護者様には、計画書等でお知らせし、将来に向けた支援を行ってまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	ご本人様、保護者様に寄り添い取り組んでまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	ご本人様、保護者様に寄り添い取り組んでまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	ご本人様、保護者様に寄り添い取り組んでまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	3	記載なし	支援計画に沿った活動を行わせていただいております。また、活動内容が1つだけにならないよう工作活動や課外活動などを取り入れ様々な経験ができるよう務めております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	2	3	10	交流希望していないので、このままでもいいと思います。	現状では行ってはおりませんが、交流することがある場合、保護者様に相談させていただきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	記載なし	今後も保護者様に丁寧にご説明をさせていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0	記載なし	面談時などに、保護者様にお伝えいたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	6	特に希望していないので、このままでもいいと思います。	必要に応じて、個別に対応をさせていただき、ご家庭との連携を深めさせていただきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	現状で満足せず、さらに保護者様と連携を深めさせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0	記載なし	現状で満足せず、さらに保護者様と連携を深めさせて頂き、安心してご利用頂けるように努めさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	私共のできる限り、お力になれるように努めさせていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	3	6	7	参加が難しいので、このままでいいと思います。	コロナ前は全体行事として開催していましたが現在は見合わせております。今後の課題として検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1	記載なし	今後もさらに保護者様のご意見を大切に、安心してご利用いただける事務所にまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	現状で満足せずさらに保護者様との連携に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	2	3	記載なし	定期的にブログでの活動報告を行っております。更新日がバラバラなため更新した際には、保護者様にメールにてお知らせいたします。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1	記載なし	引き続き個人情報の扱いに職員一同十分注意させていただきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	0	記載なし	引き続きマニュアルに沿って訓練を行って参ります。見直しが必要になった場合は修正を行い安心してご利用いただけるように努めさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	2	記載なし	災害時のリュックを準備しており、地震・火災・水害などの避難訓練を行っております。緊急時の避難場所については、個別支援計画内に記載しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	0	記載なし	発生した際には、速やかにご連絡をさせて頂き、ご説明いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、ご利用者様に合わせて対応をさせて頂き、安心してご利用いただけるよう努めさせていただきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、ご利用者様に合わせて対応をさせて頂き、安心してご利用いただけるよう努めさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	色々配慮していただいているので、とても感謝しています。ありがとうございます。	現状に満足せず。ご利用者様・保護者様に寄り添い支援内容の向上に努めさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わかかさ大庄				公表日	2026年 2月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	オープンなスペースとして見ると、充分だが個室などの利用が増えるとスペースが足りないと思われる。	利用者の人数も増えてきているのでスペースが狭くなってきている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	利用者をより理解している職員をクラスを担当にしている。	子どもの状態に対して、急な職員休みの際や長期病欠(インフルなど)の時は不足気味と感じる。利用定員に対しては充分であると思うが、利用児の状況によっては職員が足りないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	随時、設備も補強・補修を行っている。	階段の勾配がきついことが気になる。一軒家なので、各居室のスペースに限りがあり、階段もある適切だろうか。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	5	日々の清掃や消毒を頑張っている。	掃除や色々の片付けは徹底しているが、老朽化が進んでいる所があるのが気になる。走り回る子どもにとって床の材質が適しているか分からない。畳の間もある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	簡易エリアを設置した。	使用も認められており、何人かの利用者が利用されている。しかし、完全に目が離れてしまう為、中で何をしているのかが分からないのが気になる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	ミーティングや会議などを行い職員全員が周知できるように行っている。	引き続き継続して取り組む。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表を職員で把握し改善に向け話し合いを行っている。	引き続き保護者と送迎時や面談など、普段の会話からもご意向などをお聞きし職員で周知し改善に取り組みを行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	円滑なコミュニケーションが管理者・同僚間で出来ており意見等は言いやすい環境となっている。子供の情報共有はされていると思う。	引き続き、気づきのあったことを発言できるように行い、改善策を職員で考え改善を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部評価は行っていない。	今後必要な際は検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	定期的な研修を行っている。外部研修等にも場合によっては費用がかかる事がある、などで時間が支援時間とかぶる外部研修は考えてしまう。	定期的な研修と報告書で振り返っている。機会はあるが少ないように感じる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	会議を行い、利用者の特性に合わせた支援プログラムを作成している。	職員一同、支援プログラム内容を意識し支援に取り組む気持ちを持ち続ける。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	定期的なモニタリングと面談で分析・理解を努めている。	今後も継続して取り組む。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	管理者+担当が共同して計画の作成にあたっている。	今後も継続して取り組みを行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画を作成後、職員間に周知している。	常勤職員が多い事で周知したと思っていることを非常勤の職員が知らない事もあるため何かしらの共有するツールがあればいいと思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の記録や送迎時での聞き取りなどを用いて確認し取り組んでいる。	今後も継続して取り組む。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	設定している。	引き続き継続して行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	朝礼・ミーティング等で相談している。日によって担当者が代わることによって日々違うプログラムを提示できている。	今後も引き続き継続して行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	利用者に合わせた内容を検討している。それぞれの職員がプログラムを持ち寄って決定している。	今後も引き続き継続して行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	日々の活動の中で個別と集団どちらか一方だけの活動にならないよう適当な活動を考え支援している。	今後も引き続き継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼・ミーティング等で相談している。朝の15分程度を使って、前日の出来事と当日の児童の近況について確認している。	今後も引き続き継続して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	上記の内容を翌日に行っている。翌日の朝礼・ミーティング等で共有している。	今後も引き続き継続して行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	基本的に1人1枚以上の記録が残る様になっている。個人記録にて日々の記録を記載。	今後も引き続き継続して行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヶ月ごとの面談前に必ず行うとともに、必要に応じて計画の見直しを行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	日によって時間が短いなどの縛りによって、曖昧になっているところはあるがおおむねできていると思う。	今後も引き続き継続して行う。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をす力を育てるための支援を行っているか。	6	1	意思表示が出来る絵カードやジェスチャーの使用の促進を行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	管理者+担当者が参画している。	今後も引き続き継続して行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	契約時に医療機関確認を行い、相談事業所や学校と連携し支援を行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	メール・電話・対面時に確認や伝達を行っている。	学校の年間行事や下校時間は学校のホームページなどで確認を行い、利用者の様子などは送迎時の対面時などで共有し必要な情報は取得できている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	中・高生の利用者が多い為、就学前ではなく他の放課後等デイサービスとの情報共有をおこなっていた。	今後も引き続き継続して行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	卒所者の情報を移行先へ共有。卒所予定の児童には受け入れ先に対して相談員を通して情報共有を行っている。場合に応じて担当者会議に参加している。	今後も引き続き継続して行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	児童発達支援センターの相談員と連携を行っている。	送迎や支援時間等に重なり参加が難しいことがある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	機会がないので取り組めていない。	利用者にあつた交流活動があれば検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	参加できていない。	参加できる時があれば検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の送迎時に情報を共有。連絡帳と送迎時の伝達を行い、情報共有している。	今後も引き続き継続して行う。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	送迎時や面談時に利用者の様子や対応方法を説明などを行っている。	情報の共有は行っているが研修は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学时や契約時に説明を行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談の際に家族の意向を確認。子供は普段の療育の様子から推奨するようにしている。	今後も引き続き継続して行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	対面で説明を行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時に相談された場合にはその場で助言を行えるものについては職員間で共有している。送迎時や面談時、連絡帳にて対応。	今後も引き続き継続して行う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6	過去に開催していたこともあるが、現在は行われていない。	コロナ以前は全体行事として開催しておりましたが現在は見合わせておりません。今後の課題として検討いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	重要事項説明書に第三者窓口について記載している。苦情があった際には迅速に対応させて頂いている。	今後も引き続き継続して行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	月一回のブログ更新を行えている。連絡帳やメールブログ等で発信。	今後も引き続き継続して行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	契約時に個人情報の扱いについて説明を行い十分に理解を得られていると思われる。書類は鍵付き保管庫で保管。	今後も引き続き継続して行う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードでの伝達やリマインドを行うことで配慮を行っている。保護者には連絡帳や送迎時に利用者の状態の説明を行い何故その行動に至ったかなどを細かく説明している。	今後も引き続き継続して行う。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	地域住民を招待することにより不安定になる利用者もいる為行っていない。	地域のお祭りや催しに参加することはあるが、招待などは行っていない。まだ、立ち会った事はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	年間行事を作成し行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCP訓練研・研修を行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に保護者に確認を行い周知している。服薬量や増減などがあるばあいも連絡を頂いている。	今後も引き続き継続して行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時に保護者に確認を行いアセスメントシートにも記載していただき職員で周知している。	今後も引き続き継続して行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	年間の行事に研修・訓練を取り入れており安、安全管理を行い支援している。	今後も引き続き継続して行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	避難訓練を行って際に連絡帳や対面で様子をお伝えしている。	今後も引き続き継続して行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット報告書に記載し、翌日のミーティング等で共有を行っている。	今後も引き続き継続して行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修を実施。	今後も引き続き継続して行う。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必要であれば、個別支援計画内に身体拘束時の方法や状況を記載し、同意書をいただくようになっている。	今後も引き続き継続して行う。
----	--	---	---	--	----------------